

ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2017年8月14日

【2017年8月5日～2017年8月11日までの推移】

【1】先週の回顧

先週レアルは、対円、対米ドルともに下落しました。2年国債金利は上昇しました。

発表されたインフレ率が市場予想を上回ったことが、金利の上昇に寄与しました。電力料金の引き上げやガソリン等への税金引き上げが物価の上ぶれ要因となっています。

北朝鮮が米領グアム周辺へ弾道ミサイルを発射する計画を表明したことに対し、米国のトランプ大統領が北朝鮮に強く警告したことを受けて、地政学的な緊張が高まりました。リスク回避的な動きが強まったことで、レアルは下落しました。

政治関連のヘッドラインは限定的でした。政府は、財政目標を達成するため各種歳入拡大策を打ち出していますが、今年度の目標の達成は困難とみられています。

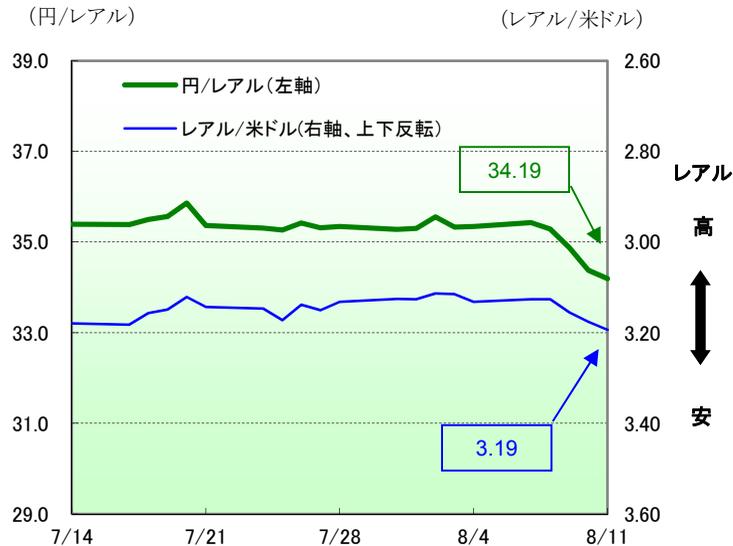
【2】今週の見通し

今週は、経済活動指数などの経済指標の発表があります。経済指標に比べて、政局や財政、年金改革法案の動向が市場を動かす材料になると思われます。

テメル大統領の支持率は低下しており、連立政権内部の政党が政権を離脱する動きが強まる恐れや、社会保障改革法案の審議・採決が先送りされる懸念があります。政府や議会が改革を進める意志は強いとみられるものの、政局の動きや、それを踏まえた今後の財政再建の行方を注視していく必要があると考えています。

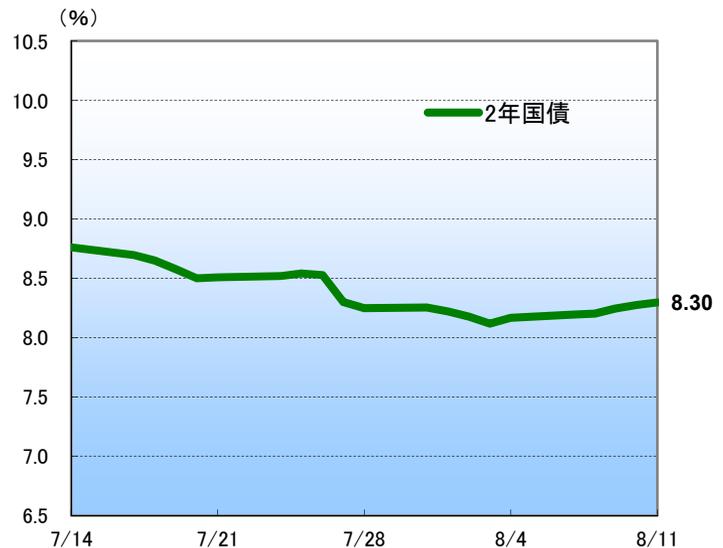
政府や議会が社会保障改革などの構造改革を着実に進める場合は、ブラジル経済に対する信認改善や利下げによる景気回復と相まって、レアルの下支えになると期待されます。

【ブラジル・レアル 為替推移】(2017年7月14日～2017年8月11日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【ブラジル 金利推移】(2017年7月14日～2017年8月11日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

大和投資信託

Daiwa Asset Management